

令和4年度 指定管理者年度総合評価表
(令和4年4月～令和5年3月実施分)

作成日	令和5年5月31日
-----	-----------

■指定管理者概要

施 設 名	グリーンプラザなんごう		
所 在 地	八戸市南郷大字中野字舘野 4－4		
施 設 概 要	設置目的：恵まれた自然環境とのふれあいを通して、都市住民との交流を図り、地域振興に資する。		
	構 造：鉄筋コンクリート造 2階建て 運用方針：南郷地域における地域内外の交流拠点として幅広いサービスを提供。		
指定管理者	名 称	なんごうプラザ株式会社	
	代 表 者	代表取締役 曾我 安博	
	所 在 地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢 44－33	
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日		
指定管理者 の 業 務	・グリーンプラザなんごうの使用許可に関する業務 ・グリーンプラザなんごうの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務		
市 所 管 課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ		
	電 話	0178-82-2113（直通）	
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp	

■指定管理者による自己評価

評価	新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、令和3年度末から継続し、4月10日まで時短営業を行った一方、令和3年度同様、全国旅行支援青森県お出かけキャンペーンが実施された年であった。 令和4年度は、マスク、手指消毒、換気とソーシャルディスタンスに留意した営業を継続した。 飲食事業では、宴会等、団体での食事は自粛傾向にあり、予約が低調な状態であった。 さらには、国際情勢の影響により、電気料金や食料品、消耗品などの価格が高騰しており、施設の管理に対しても、販売管理費が増加し売上高も低迷している。このような状態の中、収支のバランスを調整しながら、施設の管理運営をすることができた。 施設の老朽化に伴う備品の入替えや修繕を進めており、古くなった宿泊用客室の内装工事もあったが、市担当者と情報を共有し実施の時期を調整して、利用者へのサービス提供に支障が出ないように対応した。
今後の目標	これまで同様に、老朽化した施設内の備品や機器の更新計画について、市と協議・連携を取りながら実施する。また、その他の機器や備品の点検、メンテナンスを適切に実施し、利用者に対して滞りなく、より良いサービスの提供に努める。 今後も、新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策を講じながら、施設管理の収支健全化、南郷地域の農作物の販売、観光事業等ソフト面での地域への協力で地域振興へつなげ、利用者へ安心、安全を提供していく。

■市（所管課）の総合評価

評 価	施設・設備等の保守点検や清掃業務を堅実に行っており、安全かつ快適な環境整備に努めていた。経年劣化による施設等の修繕箇所を早期に発見し、市と連絡を密にしながら適切に修繕を実施していた。 新型コロナウイルス感染症や石油・物価価格等の高騰により、施設運営が難しい年であったが、感染対策を講じた上で適切に指定管理業務を実施していた。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が順守されていた。
障がい者の雇用状況	○	提案内容のとおり雇用していた。
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容とおおむね同水準の地域貢献活動が行われていた。 ・施設前歩道の清掃、草刈り、除雪作業を行った。 ・南郷地域の関係団体と協力して「南郷の日」イベントを開催した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告書等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	—	申請なし。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。

付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。 ・食品営業賠償共済に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～５年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～５年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条例の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・ボイラー点検 ・防火設備点検 ・消防設備点検 ・重油地下タンク点検 ・貯水槽点検 ・建築設備点検 ・ゴミ処理

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
宿泊・研修施設利用状況 （指定管理業務）	○	宿泊施設利用者数、研修施設利用者数共に前年度実績を上回った。 宿泊施設：令和３年度 1,349 人 令和４年度 1,556 人（対前年度比 115.3%） 研修施設：令和３年度 1,140 人 令和４年度 1,277 人（対前年度比 112.0%）
直売所・食堂利用状況 （指定管理附帯業務）	○	食堂利用人数は前年度実績を上回ったが、直売所利用人数は前年度実績を下回った。 直売所：令和３年度 161,357 人 令和４年度 147,165 人（対前年度比 91.2%） 食 堂：令和３年度 33,159 人 令和４年度 36,657 人（対前年度比 110.5%）
自主事業	○	新型コロナウイルス感染症の流行により活動が制限され、開催できなかったイベントもあったが、感染対策を施した上で「南郷の日」イベント及び新そばまつりを実施し、地域の活性化に貢献した。
その他の取組 （運営に関する工夫）	○	季節による繁忙期や作業内容に応じ、南郷そば振興センターやジャズの館南郷間で人員を調整するなど、スケールメリットを活かした効率的な施設運営を行っていた。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明				
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった (単位：円)				
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績
		収入 ①	利 用 料 金	8,185,340	8,088,620	7,308,360
			指 定 管 理 料	0	0	0
			附 帯 業 務 繰 入 金	65,000,000	63,795,599	61,273,801
			自 主 事 業 繰 入 金	260,800	203,539	201,383
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	807,000	0
			修 繕 料 繰 越 金	15,834	15,834	314,330
			計	73,461,974	72,910,592	69,097,874
		支出 ②	人 件 費	50,070,000	47,827,884	47,330,376
			維 持 管 理 経 費	17,670,940	19,916,700	17,064,885
			事業費・一般事務費	240,000	257,870	230,506
			租 税	5,050,094	4,794,183	4,318,407
				計	73,031,034	72,796,637
	次年度修繕料繰越金③	0	37,646	15,834		
	収入－支出(①－②－③)	430,940	76,309	137,866		
自主事業の収支状況	○	(単位：円)				
		事業名	収入	支出	収支	備考
		そば打ち体験	0	0	0	
		自動販売機 設置事業	203,539	15,821	187,718	収入は自動販売機 の販売手数料

4 運営に係る体制整備等の状況				
指標	評価	評価に対する説明		
利用者満足度の把握	○	施設内に意見箱を設置し、利用者の意見や要望を反映させていた。		
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページ等で積極的に周知していた。		
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。		
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。		
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)		
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)		
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。		
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。 ・包装紙の代わりとして、新聞紙の再利用に努めた。 ・厨房で発生した食用廃油を再利用可能な事業所に配付した。		

障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。
----------	---	---

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング		
自主点検状況	実施状況	
	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道、ガス等のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。	

2 定期モニタリング		
定期報告状況	実施状況	
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。	

3 随時モニタリング					
実地調査状況	実施回数	実施日		実施者	実施内容
	11 回	4 月	14 日	担当	・ 施設運営状況、修繕状況等の確認
		6 月	8 日		・ 現地確認
		9 月	8 日、30 日		・ 次年度計画に係る打合せ
		10 月	17 日		・ 施設修繕に係る打合せ
		11 月	9 日		・ 備品更新に係る打合せ
		2 月	1 日、10 日 13 日、21 日		・ 修繕検査、備品納品検査
		3 月	8 日		・ 現地確認
	実施結果				
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。				

令和４年度 指定管理者年度総合評価表
(令和４年４月～令和５年３月実施分)

作成日	令和５年５月３１日
-----	-----------

■指定管理者概要

施設名	八戸市南郷そば振興センター	
所在地	八戸市南郷大字中野字館野１－１	
施設概要	設置目的：南郷の特産物であるそばの生産及び消費拡大を図り、地場産業の育成に努める。 構造：鉄骨造平屋建て 運用方針：南郷の特産物である「そば」の安定的な生産と消費拡大に資する。	
指定管理者	名称	なんごうプラザ株式会社
	代表者	代表取締役 曾我 安博
	所在地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢 44－33
指定期間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	・八戸市南郷そば振興センターの使用許可に関する業務 ・八戸市南郷そば振興センターの施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電話	0178-82-2113 (直通)
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	当施設は、主に南郷地域及び階上地域のそばの生産を担う施設であり、９月から 11 月までにかけて、そばの刈取り、乾燥、選別を行っている。通年では、持ち込まれた玄そばの製粉作業も受託しており、令和４年度もこれら作業を滞りなく終えることができた。これまで培ってきたそば生産者との信頼関係から、刈取り、乾燥の混み合う時期に連絡を取り合い、調整することで作業を順調に受託できた。 施設の設置から 20 年以上が経過し、施設内設備や備品の老朽化が見られるが、市と相談、協議しながら年次計画を立てて更新ができています。 そして、利用者に対しては施設の機器や備品のメンテナンスを怠る事がないよう管理を徹底し、不便を掛けないよう管理運営することができた。
今後の目標	施設の特異性から、機械設備のメンテナンスが特に重要と考えている。刈取り用コンバインや乾燥機は、天気を見ながらの作業になり、故障による受託作業の中断は、そば生産者に対して多大な迷惑（損失）を掛けることになりかねない。 今後も、引き続き安全を第一に、作業機や備品等のメンテナンスを心掛け、生産者とのコミュニケーションも大切に取りつつ、施設の管理運営に努めていきたい。

■市（所管課）の総合評価

評価	日常業務において施設及び備品の状態確認を行い、小破修繕の迅速な対応及び点検の実施など適切な管理運営を行っていた。 当該施設利用者のほとんどがそば生産者であり、天候やそばに係る各種施策等により取扱数量が大きく左右される中、生産者との連絡調整を確実にし滞りなく業務を遂行していた。
指摘事項	特になし

〔評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能〕

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。 ・繁忙期となる収穫期は、利用者の利便を図るため、土日でも開館していた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告書等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
付保する保険	○	協定書で指定する保険に加入していた。 ・自動車保険（任意）に加入していた。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元年度～5年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 （使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。

備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施しており、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検 ・電気保安業務 ・機械警備 - 浄化槽保守点検

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
そば刈取・乾燥調整業務利用状況 (指定管理業務)	○	そばの作付け作業前の段階から生産者と連絡を取り合うことで施設の利用調整を図り、滞りなく作業を実施した。 刈取面積：令和3年度 1,940a 令和4年度 2,062a（対前年度比 106.3%） 乾燥調整：令和3年度 173t 令和4年度 151t（対前年度比 87.3%） ・取扱量は天候や作況等により変動するものであるため、数値による評価はしない。
施設貸出利用状況 (指定管理業務)	○	利用状況は、おおむね例年並みであった。 乾燥設備：令和3年度 93人 令和4年度 100人 選別設備：令和3年度 114人 令和4年度 111人 製粉設備：令和3年度 25人 令和4年度 54人 製麺設備：令和3年度 0人 令和4年度 0人 汎用コンバイン：令和3年度 27人 令和4年度 31人
その他の取組 (運営に関する工夫)	○	繁忙期となる収穫期は、利用者の利便を図るため、土日も開館し、作業を滞りなく実施した。

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																																	
指定管理業務の収支状況	○	適切な業務運営により、黒字であった。																																																																	
		(単位：円)																																																																	
		<table><tr><td></td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="7">収入①</td><td>利 用 料 金</td><td>5,900,000</td><td>5,258,555</td><td>5,654,658</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>11,062,000</td><td>11,062,000</td><td>10,688,000</td></tr><tr><td>附 帯 事 業 収 入</td><td>3,500,000</td><td>3,412,320</td><td>3,170,900</td></tr><tr><td>特産そば産地形成奨励金</td><td>900,000</td><td>1,008,500</td><td>892,500</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>0</td><td>193,000</td><td>0</td></tr><tr><td>修 繕 料 繰 越 金</td><td>326,710</td><td>326,710</td><td>11,373</td></tr><tr><td>計</td><td>21,688,710</td><td>21,261,085</td><td>20,417,431</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>9,830,000</td><td>10,039,081</td><td>9,214,848</td></tr><tr><td>維 持 管 理 経 費</td><td>5,638,100</td><td>6,206,005</td><td>5,527,129</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>5,075,000</td><td>3,773,281</td><td>4,120,940</td></tr><tr><td>租 税</td><td>997,782</td><td>1,025,618</td><td>1,046,305</td></tr><tr><td>計</td><td>21,540,882</td><td>21,043,985</td><td>19,909,222</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>3,736</td><td>326,710</td></tr><tr><td colspan="2">収入－支出(①－②－③)</td><td>147,828</td><td>213,364</td><td>181,499</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	5,900,000	5,258,555	5,654,658	指 定 管 理 料	11,062,000	11,062,000	10,688,000	附 帯 事 業 収 入	3,500,000	3,412,320	3,170,900	特産そば産地形成奨励金	900,000	1,008,500	892,500	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	193,000	0	修 繕 料 繰 越 金	326,710	326,710	11,373	計	21,688,710	21,261,085	20,417,431	支出②	人 件 費	9,830,000	10,039,081	9,214,848	維 持 管 理 経 費	5,638,100	6,206,005	5,527,129	事業費・一般事務費	5,075,000	3,773,281	4,120,940	租 税	997,782	1,025,618	1,046,305	計	21,540,882	21,043,985	19,909,222	次年度修繕料繰越金③		0	3,736	326,710	収入－支出(①－②－③)		147,828	213,364	181,499
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																													
		収入①	利 用 料 金	5,900,000	5,258,555	5,654,658																																																													
			指 定 管 理 料	11,062,000	11,062,000	10,688,000																																																													
			附 帯 事 業 収 入	3,500,000	3,412,320	3,170,900																																																													
			特産そば産地形成奨励金	900,000	1,008,500	892,500																																																													
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	193,000	0																																																													
			修 繕 料 繰 越 金	326,710	326,710	11,373																																																													
			計	21,688,710	21,261,085	20,417,431																																																													
		支出②	人 件 費	9,830,000	10,039,081	9,214,848																																																													
			維 持 管 理 経 費	5,638,100	6,206,005	5,527,129																																																													
			事業費・一般事務費	5,075,000	3,773,281	4,120,940																																																													
租 税	997,782		1,025,618	1,046,305																																																															
計	21,540,882		21,043,985	19,909,222																																																															
次年度修繕料繰越金③		0	3,736	326,710																																																															
収入－支出(①－②－③)		147,828	213,364	181,499																																																															

4 運営に係る体制整備等の状況		
指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者は主にそば生産者であり、事前に協議する等、利用者の満足が得られるような体制をとっていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設の概要をホームページにより周知していた。 ・ホームページのほか、新規利用者にはその都度利用方法を説明した。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した省エネルギーへの取組や、リサイクルの推進等が適切に行われていた。 ・業務で発生したそば殻を商品として販売するほか、希望する農家に配布する等、廃棄物を減らすよう取り組んでいた。
障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング	
自主点検状況	実施状況
	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。

2 定期モニタリング	
定期報告状況	実施状況
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	4 回	4 月 14 日	担当	・ 施設運営状況、修繕状況等の確認
		8 月 4 日		・ 現地確認
		8 月 24 日		・ 備品納品検査
		9 月 8 日		・ 次年度計画に係る打合せ
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			

令和４年度 指定管理者年度総合評価表
(令和４年４月～令和５年３月実施分)

作 成 日	令和５年５月３１日
-------	-----------

■指定管理者概要

施 設 名	ジャズの館南郷	
所 在 地	八戸市南郷大字中野字館野４－４	
施 設 概 要	設置目的：地域住民に文化的交流の場を提供し、ジャズを通じた広域的な交流により地域の活性化を図る。 構 造：鉄筋コンクリート造 平屋建て 運用方針：ジャズを通じて他地域の住民との交流と地域の活性化を図る。	
指定管理者	名 称	なんごうプラザ株式会社
	代 表 者	代表取締役 曾我 安博
	所 在 地	八戸市南郷大字市野沢字中市野沢 44－33
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日	
指定管理者の業務	・ジャズの館南郷の使用許可に関する業務 ・ジャズの館南郷の施設、設備等の維持管理に関する業務 ・その他市長が必要と認める業務	
市 所 管 課 (問合せ先)	総合政策部 南郷事務所 地域振興グループ	
	電 話	0178-82-2113 (直通)
	E-mail	nango@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評 価	当施設は、地域のシンボリックな施設であり、南郷地域で通年ジャズに触れることができる唯一の場所である。新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、年に数回行ってきた無料ジャズライブは令和４年度も開催できなかったが、感染防止対策のための手指消毒剤とテーブルへの遮蔽板の設置、随時、換気に留意しながら通常営業を行った。 このような状況下で、利用者に安心と安全を確保しつつ、施設に設置してあるソフトクリームフリーザーを宣伝材料にして、利用者数の維持、増加を図った。施設を利用したことのない人に対しても、どのような施設なのか一度入館してみてもらい周知を図ることができた。
今後の目標	新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきており、当施設の周知に最も効果のある無料ジャズライブを実施し、施設の利用者を増やしていく。 引き続き、土、日、祝祭日に営業しているそば屋台の利用者へ、ジャズの館南郷は無料で休憩利用できる施設であることを周知していく。 また、平日の利用者を増加させるため、施設を見ただけで中に入りやすいように、看板や掲示板の設置等、工夫を増やして利用者、集客の増加に努めていく。

■市（所管課）の総合評価

評 価	施設及び備品の点検や清掃業務を堅実に行ったほか、経年劣化による備品等の修繕は、市と連絡を密にしながら実施した。また、優れた音響機器を活用し、利用者にジャズを体感してもらうジャズタイムを実施するなど、利用者の多様なニーズに対応すべく努めた。 新型コロナウイルス感染症や石油・物価価格等の高騰により、施設運営が難しい年であったが、施設の周知促進活動を積極的に行い、利用者数を大きく向上させた。 また、感染症対策についても適切に行い、利用者の安心安全に配慮した施設運営を行っていた。
指摘事項	特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況		
指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間や休館日が遵守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への対応（準備）が十分できていた。 ・法令に従い、適正に避難訓練を実施していた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告書等が適切に提出されていた。
利用料金の取扱い	○	利用料金の設定は適切で、各種媒体を使い確実に周知されていた。
利用料金の減免	○	減免手続が適切に行われていた。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。 ・通帳、印鑑をそれぞれ別の社員が管理していた。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	—	事例なし。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和元～５年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和元～５年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、引継ぎなし。

重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が施設設置条例に基づき適切に行われていた。 (使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。)
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、 その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。 下記の特殊業務については、外部委託を実施し、報告書等で実施内容を確認した。 ・消防設備点検 ・建築設備点検 ・機械警備 ・ピアノ調律

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
施設利用状況 (指定管理業務)	○	前年度までに引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、施設利用は小規模な集会や講習会に留まり、コロナ禍前の水準には及ばないものの、前年度に比べ増加した。 令和3年度 287 人 令和4年度 385 人 (対前年度比 134.1%)
ジャズイベント実施状況 (指定管理附帯業務)	△	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前年度に引き続きジャズイベントは全て中止とした。 令和3年度 0 人 令和4年度 0 人 (対前年度比 —)
自主事業	○	無料開放時間帯を、ランチタイムと音響機器を活用したジャズタイムに分け、軽食や休憩目的の利用者、音楽鑑賞を目的とする利用者、双方に満足してもらえるように努めた。 無料開放時来館者 令和3年度 8,021 人 令和4年度 11,994 人 (対前年度比 149.5%) 飲食利用者数 令和3年度 3,017 人 令和4年度 5,521 人 (対前年度比 183.0%)

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																													
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を達成し、黒字であった。 (単位：円) <table><tr><th> </th><th>項目</th><th>収支計画</th><th>収支実績</th><th>前年度実績</th></tr><tr><td rowspan="6">収入①</td><td>利 用 料 金</td><td>74,520</td><td>74,520</td><td>66,420</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>6,852,000</td><td>6,852,000</td><td>6,760,000</td></tr><tr><td>自 主 事 業 繰 入 金</td><td>300,000</td><td>501,867</td><td>114,756</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>0</td><td>104,000</td><td>0</td></tr><tr><td>修 繕 料 繰 越 金</td><td>30,868</td><td>30,868</td><td>48,488</td></tr><tr><td>計</td><td>7,257,388</td><td>7,563,255</td><td>6,989,664</td></tr><tr><td rowspan="5">支出②</td><td>人 件 費</td><td>3,940,000</td><td>3,761,112</td><td>3,671,650</td></tr><tr><td>維 持 管 理 経 費</td><td>2,009,020</td><td>2,432,168</td><td>2,201,109</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>790,000</td><td>91,504</td><td>98,240</td></tr><tr><td>租 税</td><td>405,306</td><td>458,143</td><td>490,265</td></tr><tr><td>計</td><td>7,144,326</td><td>6,742,927</td><td>6,461,264</td></tr><tr><td colspan="2">次年度修繕料繰越金③</td><td>0</td><td>114,800</td><td>30,868</td></tr><tr><td colspan="2">収入－支出(①－②－③)</td><td>113,062</td><td>705,528</td><td>497,532</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入①	利 用 料 金	74,520	74,520	66,420	指 定 管 理 料	6,852,000	6,852,000	6,760,000	自 主 事 業 繰 入 金	300,000	501,867	114,756	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	104,000	0	修 繕 料 繰 越 金	30,868	30,868	48,488	計	7,257,388	7,563,255	6,989,664	支出②	人 件 費	3,940,000	3,761,112	3,671,650	維 持 管 理 経 費	2,009,020	2,432,168	2,201,109	事業費・一般事務費	790,000	91,504	98,240	租 税	405,306	458,143	490,265	計	7,144,326	6,742,927	6,461,264	次年度修繕料繰越金③		0	114,800	30,868	収入－支出(①－②－③)		113,062	705,528	497,532
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																									
		収入①	利 用 料 金	74,520	74,520	66,420																																																									
			指 定 管 理 料	6,852,000	6,852,000	6,760,000																																																									
			自 主 事 業 繰 入 金	300,000	501,867	114,756																																																									
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	104,000	0																																																									
			修 繕 料 繰 越 金	30,868	30,868	48,488																																																									
			計	7,257,388	7,563,255	6,989,664																																																									
		支出②	人 件 費	3,940,000	3,761,112	3,671,650																																																									
			維 持 管 理 経 費	2,009,020	2,432,168	2,201,109																																																									
			事業費・一般事務費	790,000	91,504	98,240																																																									
			租 税	405,306	458,143	490,265																																																									
			計	7,144,326	6,742,927	6,461,264																																																									
		次年度修繕料繰越金③		0	114,800	30,868																																																									
収入－支出(①－②－③)		113,062	705,528	497,532																																																											
自主事業の収支状況	○	令和２年度に導入したソフトクリームフリーザーの周知を更に促進したことにより、レストラン事業の認知度が向上し、売上げが大幅に増加した。 レストラン事業 (単位：円) <table><tr><th> </th><th>収支実績 (４年度)</th><th>前年度実績 (３年度)</th><th>備考</th></tr><tr><td>収入</td><td>836,427</td><td>191,260</td><td>飲食代売上げ</td></tr><tr><td>支出</td><td>334,560</td><td>76,504</td><td>食材仕入代</td></tr><tr><td>収入－支出</td><td>501,867</td><td>114,756</td><td></td></tr></table>		収支実績 (４年度)	前年度実績 (３年度)	備考	収入	836,427	191,260	飲食代売上げ	支出	334,560	76,504	食材仕入代	収入－支出	501,867	114,756																																														
			収支実績 (４年度)	前年度実績 (３年度)	備考																																																										
		収入	836,427	191,260	飲食代売上げ																																																										
		支出	334,560	76,504	食材仕入代																																																										
		収入－支出	501,867	114,756																																																											

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	接客時の会話等により、利用者の満足度の把握に努めていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等をホームページで積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	意見箱を設置していた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。(運用実績なし)
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。

障がい者への配慮	○	来館者の話をよく聞き、話が的確に伝わるように明確に、ゆっくり、丁寧に話し、必要に応じてパンフレット等の資料で説明を行っていた。
----------	---	---

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング		
自主点検状況	実施状況	
	・毎日、日常業務始業前に、施設・設備を目視点検した。 ・電気、水道のメーターを毎日2回確認し、使用量を記録することで、設備の不具合の発見に努めた。	

2 定期モニタリング		
定期報告状況	実施状況	
	月例報告書及び事業報告書が提出され、内容も適切であった。	

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	4 回	4 月 14 日	担当	・ 施設運営状況、修繕状況等の確認
		9 月 8 日		・ 次年度計画に係る打合せ
		9 月 30 日		・ 修繕検査
		2 月 10 日		・ 現地確認
	実施結果			
	施設や設備の劣化故障等が確認された場合は、協議して修繕対応若しくは修繕計画に反映させた。			